

1. 第1号議案

平成27年度事業報告と収支報告

(1) 会 員

27年度入会者2名。28年度入会者1名。28年度より退会する者5名。28年度当初会員数は151名（153+2+1-5）である。前年度に引き続き漸減の傾向である。主たる退会理由は資格継続不可（主として嗅覚試験）・退職や職種変更等である。新入会員を増やすため、会員の皆さまの援助（勧誘・推薦など）をお願いしたい。

賛助会員数は発足以来7社であったが、28年度に入り1社が退会し6社となった。新規入会法人を1社以上確保したい。可能性のある会社の推薦をお願いしたい。

会員数増加のための方策の一つとして次のことを実施・推進している。臭気判定士試験回答解説集、講習会の内容の充実をはかることで当会への魅力を感じてもらおう。（入会の動機づけとする）

個人会員数の推移（各年度総会時）

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
人数(名)	182	180	172	165	158	153	151

（平成27年度末における臭気判定士免状所有者数は3494名である）

(2) 総会及び運営に関する会議

理事会を以下の通り開催した。（議事内容詳細は別途作成の議事録参照）

27年度第1、2回理事会と総会（27.5.21開催）

平成27年度総会配布資料の承認。総会開催。総会決議事項の報告。

第1回メール理事会（27.9.18開催）

①回答解説集の売上状況・見通し報告 ②講習会の状況・収支の見通し報告

③新入会員の状況報告 ④第二回意見交換会の準備状況報告

28年度第1回理事会（28.4.28開催）

平成28年度定期総会で予定されている審議項目、報告事項について意見交換。

(3) 臭気判定士試験受験対策講習会について

受講者全体での合格率は35%、3～4回受講者では43%とかなり高く好成績であった。

〔参考：協会発表（27年度22%）（資料-1）〕

大阪開催の収益は、わずかではあるが黒字計上することが出来た。大阪の受講者を増やすことが今後の課題である。東京会場は新コスモス電機（浜松町）の研修室を無償で借用出来たことと参加者が比較的多かったため、大幅な黒字を確保出来た。（資料-2）新コスモス電機殿に感謝いたします。受講者の講習会に対する評価は、概ね良いと判断出来た。（メール等で）

(4) ホームページの充実について、当年度の財政状況の見通しがよいのでPCを更新し作業の効率化を図った。会員全員が係われるような掲示板形式の相談コーナーを設けることとしたが、迷惑メール対策の考慮が必要であることが判明、現在検討中。平成28

年度に持ち越し案件とした。

(5) においの悩み相談対応について、主として祐川会長が担当・処理した。27年度の対応件数は5件。複数の会員で協力し対処した案件もあった。対応状況についてリストを参照されたし。(資料-3) 当会の対外的な信用・責任・アフターケアなど考慮し、現状では、会長の管理監督のもとで案件処理をしている。案件数の増加や相談コーナーの充実が進展すれば、会全体で対応していく方法に移行していく予定。

(6) 意見交換会は、テーマの選定が的を得ていることも要因と思われるが、参加者からの評価は高くなってきている。会場費、講演謝金等、経費削減の課題もあるので講演者(社)・当会ともにメリットがある方法を模索しながら開催していきたい。(テーマ・会場選定等) 27年度に実施したテーマなどは以下のとおりである。

第一回 平成27年9月19日(土) オリンピック記念青少年センター(25名参加)(資料-4)

「分煙の取り組みとにおい対策について」岩上理事(日本たばこ産業)

「ビジネスホテル客室および喫煙コーナーにおけるたばこ臭対策検討例」竹内氏(安藤・間)

第二回 平成28年2月20日(土) 会議室内海(27名参加)(資料-5)

「食品のオフフレーバー事例と対策」「官能パネルトレーニング」中島氏(サイエンスソフトウェア)

(7) NPO法人化 財政面・事業的にもう少し安定してから具体化を検討する。

(8) 対外支援活動 東京滋慶学園(東京ハイテクノロジー)および大同大学で臭気測定、悪臭防止法、統計等臭気判定士試験関連科目の講義をおこなった。

(28年度の東京慈慶学園支援は終了)

(9) 役員の変更年度に当たるので、以下の通り改選した。高山洋一理事、小坂芳雄理事、相部紀夫監事が退任し、岩上伸介氏が理事、中後晶久氏が監事に就任した。なお、小坂氏は特別顧問として理事会に参画していただくこととなった(議決権はない)

27年度より次の体制となった。(敬称略)

理事会 祐川英基(祐川環境カフェイン) 会長 吉栄康城(新コスモス電機) 副会長

山口 靖(荏原実業) 常任理事 伊藤英武(当会事務局) 常任理事

久保田はる子(九宝) 理事 石川英一理事 岩上伸介(日本たばこ産業) 理事(7名)

監事 柿本元大(日本テニール) 監事 中後晶久(荏原実業) 監事(2名)

(10) 長期海外在住会員の年会費等について、会則第8条に以下の文章を書き加え、負担を免除することとした。「海外勤務などにより諸行事に参加できないという事由があるときは、当人からの申し出により年会費を免除することがある」(資料-6)

(11) 学生会員の年会費について、年会費を1000円に決定した。また、学生会員について第6条で規定した。(資料-6)

(12) 27年度会計報告 「27年度末収支決算」(資料-7)を参照。

○ 寄付 回答解説集の売り上げは前年並み。(資料-9) 講習会の参加者数も前年並みであった。研究会からの寄付金は506,407円となり、ほぼ予算どおり確保できた。

(予算500,000円) なお、回答解説集出版、講習会開催ともに当会と臭気判定士試験

研究会で共催している。収益事業なので試験研究会で税務処理を済ませた上で収益全額を当会に寄付するという形で運営している。(税務上の義務は遵守)

- 収支結果 今期の収支は約 9.5 万円の黒字。前期からの繰越金 (約 34.5 万円) と合算し次期への繰越金は約 44 万円となった。

2. 第2号議案

28年度活動計画と予算

平成28年4月1日から平成29年3月31日までに行う活動の概要は次の通りである。

- (1) 会員：個人会員の新規入会者を5名以上確保することを目標とする。賛助会員は現在6社である。新規入会法人を1社以上確保する。
- (2) 総会及び運営に関する会議開催について、次の通り予定する。

会議名	開催日時・場所	議題	出席者
第1回理事会	平成28年4月28日 10:00~13:00 日本デオドール	1.平成27年度事業・決算報告案 2.平成28年度活動・予算計画案 3.その他	理事 監事
第2回理事会	平成28年5月16日 13:00~14:00 会議室内海	総会資料の確認	理事 監事
総会	平成28年5月16日 15:00~16:30 会議室内海	1.平成27年度事業・決算報告 2.平成28年度活動・予算計画 3.その他 以上の討議・採決	会員
第3回理事会	平成28年5月16日 16:30~16:45 会議室内海	総会報告	理事 監事
理事会	平成28年6月以降随時	事業実施状況	理事 監事
メール理事会	随時	緊急課題など	理事 監事

- (3) 意見交換会の開催：当会に相応しいテーマを選定し開催する。開催回数は2回を目標とする。第一回は生活環境に用いる脱・消臭機材に関することをテーマにする予定である。関連メーカーに講演依頼中。第二回の開催テーマ募集中。
- (4) 会員への技術支援：測定室開設、作業改善等の技術指導、悩み相談対応に関する助言、可能な範囲（業者間の混乱を招かない程度）での技術営業支援・相談に応ずる。
- (5) 悪臭に関する相談コーナー：一般生活者からののにおいの相談にも積極的に対応する。当会の趣旨に鑑み継続していく。当会の全国ネットを活用できる状態が理想である。
- (6) 臭気判定士資格試験受験対策講習会の開催：本年7月以降、試験直前まで東京と大

阪でそれぞれ4回ずつ開催する。全科目を一日で行ってしまう形式の講習会ではなく、前年同様、一日で行う科目を2～3科目に絞り充実させる。受講料は前年と同じ12,000円/1回・人で設定する。27年度受講者で不合格であった者は、27年度の受講料等について優遇措置を行う。

受講者を増やすための方策として、HPの開催案内に合格者のコメントを掲載する。
(合格者本人の了解を得ること。匿名を原則とする。)

大阪開催について:27年度は、会場借用料が廉価で交通の便も良い公的施設(天満橋、ドーンセンター)で開催したので赤字にはならなかった。相変わらず参加者が少なかった(2～5名)。参加が増えることはあまり期待できないので、無償の会場を探したい。関西地区で会場の無償貸与もしくは紹介等、会員の皆様の援助を賜りたい。

(7) 情報提供: におい関連の諸情報(例えば研究発表会開催情報、関連記事、新技術関連情報等)を積極的にホームページに掲載する。会員が外部より入手した情報等で、掲載を希望される場合は、事務局に申し出てください。

また、会員全員が係わるような相談コーナーを設ける。(アイデア等を出し合える)

(8) 支援活動: 大同大学で臭気測定、法、統計等臭気判定士試験関連科目の講義をおこなう。28年度も引き続き行う。

(9) 28年度予算案: 「28期予算」(資料-8)。 参照。

3. その他